

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2699回例会
令和5年3月17日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン
ロータリー 財団補助金事業説明

<会長の時間>

WBC もいよいよ佳境にさしかかります。昨日も大いに盛り上がりました。大谷選手・ダルビッシュ選手をはじめ、日本では無名に近かった日系2世メジャーリーガーのヌートバー選手らの大活躍で快進撃を続けています。普段はサッカーも見ない人もワールドカップとなると俄然熱狂するように、WBCも同様で日の丸ハチマキ締めて絶叫されている方も多いのではないのでしょうか？メディアでもありましたが、ほんとと野球に興味が無い人でも手に汗握り、興奮できる良い機会です...でも乗り切れない方がいるとしたら、もはや諦めて下さいとの事でした。来週もアメリカ本土フロリダ・マイアミにて準決勝・決勝があり、試合開始時間が日本時間の午前8時からですので、私にとっては仕事が手につかない日々が続きますが、是非とも3回目の優勝を成し遂げてほしいものです。



そこで今週はネタを昨日急に变えたくなり一夜漬けで纏まりが無いですが栗山英樹 WBC 監督についてお話ししたいと思います。栗山監督は、1984年に東京学芸大からドラフト外で内田さん押しのヤクルトに入団しました。外野手でゴールデン・グラブ賞を受賞するなど活躍し、引退後は野球解説者やスポーツキャスターを経て、2012年のシーズンから2021年まで10年間監督として日本ハムを率いました。ダルビッシュ有選手も育て上げメジャーに送り出したのも栗山監督でした。かつて大谷翔平をドラフトで指名した際には、二つのことを決めていたそうです。一つはファイターズに来てほしいと絶対言わない、もう一つはメジャーに行かないでくれとは言わない。その代わり過去の事例やデータを詳細に示し、ファイターズを経由し夢を叶える為の最良の道筋を提示したそうです。そこまで出来たのも、最後に決断するのは自分自身であって監督はメリット、デメリットを説明したうえで選択肢を提示する。そして選手の選択を信じ、見守る事で選手は必ず成長するという確信を持っていたからです。

日本の金の卵を守り、WBCで力強くなった大谷翔平選手を応援できることが誇らしく栗山監督に心から感謝しています。その大谷選手が日ハム入団時には日本ハムファイターズの選手の格好や話し方や行いについて、厳しい意見が寄せられることがあり、だらしないうえに礼儀がなっていないのは監督のせいと指摘されることが多々あったといえます。栗山監督は「自分の姿や立ち居振る舞いが、野球ファンの子どもたちにどういった影響を与えるのか考えてほしい」と注意の代わりに告げたそうです。大事なポイントは

押さえつけ型にはめる事ではなく、個々が考え実践する事を重視させていました。

その時に同時に伝えている大事なことは「礼儀」で、現在巨人ですが当時日ハムの中田翔選手のルックスは賛否両論がありました。そんな中チームに居続け活躍し続けていられたのも、栗山監督という「寛容な受け皿」があったからかもしれません。栗山監督は選手と接する際に上下関係を持ち出さずに、フラットな心で語りかける事を大切にしている、それが物事の核心をストレートに伝える秘訣だと考えているようでRCのDEIの公平(Equity)に通じるものがあると思います。

上司としてあるべき姿は、伝えてどう思われるかを考えるより伝えたいことを真摯に、そのまま伝えることで「相手のことを本気で考える」事だと思います。選手と向き合う際にもっとも大切にしているのは「方向性」と「覚悟」で自分はどこに向かい、どんなルートで辿り着くのか進む方向を見出した選手はまだ必要なものがあり、それが「覚悟」であり「この道を進む事こそが自分の生きる道だ」という強い決意は必ず進化に繋がっていくと信念をもちつづけておられます。いかなる仕事でも結果を出すにはゴールとゴールへ辿りつくイメージ、具体的な目標、この仕事で結果を出すという覚悟で取り組むことが大事だと思います。良いクラブになるためには次のようなステップが必要だと感じています、まずは「イメージする」どのような準備をしてどのような努力をして、仲間とどのようなクラブを作り上げたいのか、クラブメンバーがどんな哲学を持っている、何が好きで何が嫌いか、どんな言葉を使うか、以心伝心で臨むのも悪くはないが相手の思いを無言で鑑みるなど簡単ではありません。

自分の言葉で誠実に思いを伝え、誰もが話しやすい環境作りが大切と感じる今日この頃ですが「人の話に耳を傾ける」事は、人材や働き方の多様化が進む現代で、メンバーと信頼関係を築く上で大切な事だと思います！考え方を纏めまずとメンバーを信じて任せる、個性や考え方を尊重する、押し付けない、フラットなコミュニケーション、覚悟を持って臨む等々、クラブを纏める会長にも必要なのは短期的な結果や失敗に動じず、常に謙虚な心で相手の言葉に耳を傾ける器量であるこんな感じですか...言葉にするのは簡単ですが、現実のビジネスの世界では上手くいかない事が多いです。

短期的な結果を求められたり、年初長期的な目標を掲げても結局は目先の結果に追われる...失敗は付き物ですが、そもそも生まれた環境も、性格も、思想も異なる他人をコントロールする事自体、本来は無理に等しく失敗そのものよ

例会報告

りも、失敗を次に使える材料としたか、どうかが大事だと思っています。

本日の締めに入ります。言葉ひとつで人の印象や楽しさは変わってきます。コミュニケーションは下手でも丁寧に相手に接していけば、誠実さが伝わるはずで「自分をどう見せるか」よりも「相手への気遣い」が出来れば信頼されるに値する会長に少しでも近づけると信じています。ここで諸クラブのバスト会長の言葉を引用して申し上げます

「クラブ会長になるにはすべてに精通している必要があると思う方が多いようです」と、こう語るのはシカゴ RC の 2017-18 年度会長コナー・ギーさんで、加えて「クラブとはあなた（クラブ会長）を中心に作っていくものです。

その過程で自分の得意な事や不得意な事を自覚し、周りの力を借り自分の足りぬところを埋める事ができます」ギーさんはこれまで、運営能力の才能は自分にはない事を心配して会長職を敬遠する会員達を見てきました。しかしこれをスキルアップのチャンスと捉えてほしいと言います。

補助金の申請方法をはじめ、RC の仕組みをよく知らない心配する会員も多いですが「全てに精通している必要はありません」そして「地区リーダーやバストクラブ会長の力を借り自分の能力を高められます、会長がすべき事はクラブを牽引して纏める事だけです」この言葉は私にも参考になり勇気も頂きました。又「今まで見てきた中で最も有能な会長はクラブや理事会でリーダーシップを発揮しながらも、全てを一人で背負わない人です」「それよりも、会員が頑張れるよう意欲を引き出すことが大切です」と、こう語るのはウィスラーミレニアム RC (ブリティッシュコロロンビア州) の会長を 2 期務めたメアリー・アン・コーリショウさんです。

クラブ会長で培った経験で自身の能力も高まったと言います。「私は RC での活動を通じてリーダーシップや秩序、時間管理、委任といったスキルを学び実践できた」とコーリショウさんは述べており、会長就任してからの伸び白に期待が膨らみます、近々 PETS が開催され準備万全の下屋エレクトをはじめ新会員の水梨さんまで...会長目指して下さい！幹事もやってみて下さい！きっと今まで見た事のない素晴らしい素晴らしい世界が必ず開けます！クラブ会長未経験者を勇気づける言葉として、志半ばの私如きが偉そうにお話しさせて頂きました。

<幹事報告>

<受贈誌>

高山中央 RC (会報)、米山記念奨学会 (ハイライトよねやま vol.276)



<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
31名	-	31名	36名	86. 11%

<本日のプログラム>

財団補助金事業説明

実行委員長 杉山 和宏

次年度、財団補助事業の担当を務めます杉山より、7月に予定をしておりますロータリー財団補助事業について説明させていただきます。お手元の資料はロータリー財団への申請書を基



にした概要となりますが、今後、詳細を詰めて会員の皆様方にお手伝いいただくことも出てまいりますので、よろしくお願いいたします。

タイトルが「相撲に触れ合う一日」ということで、相撲を中心とした事業となります。事業目的は「日本文化の伝承と青少年の健全育成」で、以下の3点となります。①飛騨地域では普段触れ合うことのできない大相撲の力士に直接指導していただくことで、強い身体づくりのきっかけを作るとともに、「飛騨の花」以来の関取を目指す子供の発掘。②元力士から実際の経験や苦労話を聞くことで、これまでの生き方を振り返り生きる希望を得る。③地元相撲大会への協賛をし、さらに相撲場の土俵作りを実際に行うことで、高山相撲の振興発展に寄与する。

実施日は令和 5 年 7 月 30 日 (日) となります。

事業内容は、7月30日午前高山市青少年相撲大会の広告協賛、運営協力、親方に審判を依頼。7月30日午後には講演会、講師として二所ノ関親方(元第74代横綱稀勢の里)・中村親方(元関脇嘉風)をお迎えいたします。また、日時は決まっておりますが、6/28~7/1のうち1日で、高山市相撲場の整備、土俵築(土俵叩き直し)の手伝い・備品購入を予定しております。

主催は高山西ロータリークラブ、後援として高山市、高山市教育委員会、高山市相撲連盟、高山市体育協会、財団法人日本相撲協会(案)を予定しております。

予算は、1月ロータリーレート1\$ = ¥132を基準として844, 305円、うちクラブ拠出金231,000円(1,500\$)、補助金613,305円(4646.25\$)となります。

会員の皆様に参加いただく内容としては、高山市青少年相撲大会の運営補助、二所ノ関(元第74代横綱稀勢の里)親方の講演会運営、土俵築のお手伝い、相撲についての勉強会(卓話)、また希望者を募って大相撲の観戦も検討しております。

スケジュールとしては、5月に二所ノ関部屋訪問(福島)、五月場所観戦(両国5/14~28)、6月9日相撲勉強会、6/28~7/1に高山市相撲場の土俵築、7月14日 新年度事業説明、7/15~16頃に大相撲名古屋場所観戦、7月30日事業開催としております。

実行委員会メンバーをご紹介します。

実行委員長：杉山和宏、土俵築：田中晶洋・井口大輔、青少年相撲大会：大村貴之、二所ノ関親方講演会：田邊淳・堀幸一郎・鴻野幸泰・塚本直人

以上8名のメンバーと下屋会長エレクトを中心に進めて参りますが、大きな事業となりますので、会員の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

例会報告

会長エレクト 下屋 勝比古

今回次年度会長になるにあたって、なにか目玉の事業はないかを考えた際に、そもそも少年から好きだった相撲をテーマに何かできないと思いました。

高山には昔から護国神社に土俵があって、各町内で大会に出るためにラジオ体操の後に練習をした覚えがあります。私の子供のころは、大鵬・柏戸、北の富士・玉ノ海を觀て育ち、小学校高学年になる頃は北の湖・若島津・千代の富士の時代でした。もちろん地元出身の「飛驒ノ花」さんはみんなの憧れでした。

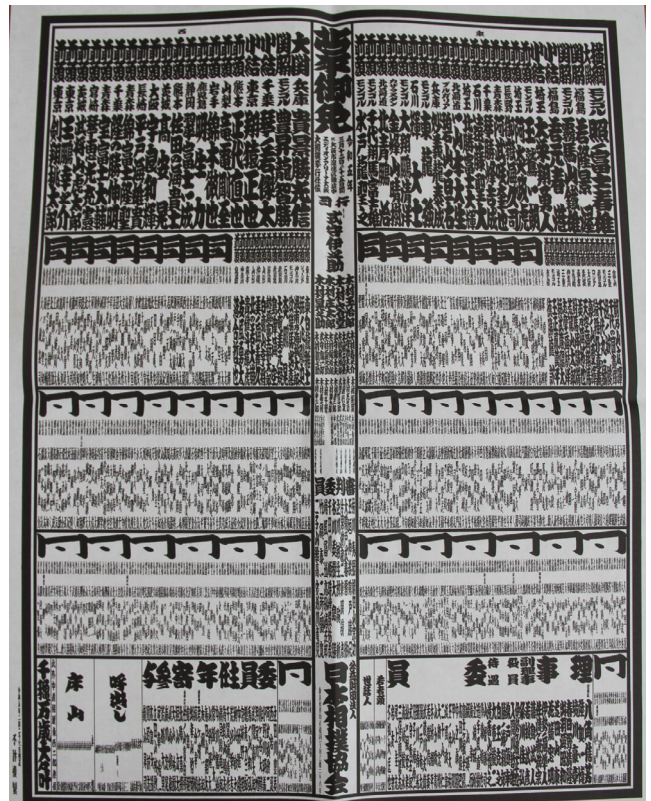
大学を卒業して就職した、愛知県日進市には毎年名古屋場所になると「片男波部屋」の宿舎が近所に来ました。その若い力士が稽古中にけがをしてよく病院に来たことで、力士と交流を持つようになりました。その後深みにはまって東京に行った際に居候したほどでした。その後、出入りの業者さんから当時の鳴門部屋を紹介され、出入りするようになりました。

「力皇」「若の里」「隆の若」「隆の鶴」などの関取が多く所属し活気ある部屋でした。その後、萩原という若い子が入門してきました。現在の二所ノ関親方です。荒々しい相撲で元気のいい負けん気の強い子でした。ちゃんこ番の時には、どんぶりにビールを入れて良く持ってきてくれました。史上最年少で関取になった時に、堀さんも一緒に場所に応援に行った際は、土俵入りの時筋肉をピクピクさせてアピールしてくれました。そんな関係で、今回のゲストを親方をお願いして快諾していただきました。

皆様のお手元には、現在開催中の大阪場所の番付をお配りさせていただきました。まず、力士 幕内 42 十両 28 幕下 120 三段目 180 序二段 202 序の口 約 600 名が所属しています。そのうち外国人は 40 名と決まっていますが、帰化したものは含まれないので、少し多くいます。

他には、行司 35 呼出 45 床山 50 若者頭 6

真ん中の大きな文字は「蒙御免(ごめんこうむる)」約 300 年前、庶民の相撲好きが高じて喧嘩が絶えなかったことに一度は禁止になった相撲興行が、最期神社奉行の管轄の元開催された許可(御免)が残っているものです。



<ニコニコボックス>

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

本日は、来年度に向けた財団補助金事業例会です。次年度会長 下屋さん、実行委員長 杉山さん宜しくお願いします。次回例会は第 2700 回の節目の例会となります。出席率 100%を目指しましょう。

●下屋 勝比古さん

本日常年財団補助金事業に関連した卓話をさせていただきます。WBC で盛り上がっていますが大阪場所も盛り上がっています。

- 平 義孝さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、向井 公規さん、大村 貴之さん、田中 晶洋さん、田邊 淳さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん、富岡 恒重さん、水梨 弘基さん

日ごとに暖かくなり、春の気配が感じられる様になりました。春は別れと出会いの季節です。残念ながら、富岡さんとは今月でお別れです。新天地での御活躍をお祈りしたいと思います。そして新会員との出会いも待ち望みたいと思います。また、本番に向けて祭り囃子の笛の音が聞こえるようになりました。今年の春祭りは各神社で、例年と同じようにやられる様です。桜の開花も早い様なので、祭りの時期には満開になって、それこそ花を添えて欲しいものです。